

uekari cise

ウエカリ チセ
体験交流ホール



ウポポイ（民族共生象徴空間）は、北海道や樺太など各地で伝承されてきた先住民族アイヌの多様な文化の伝承と復興に取り組んでいます。

アイヌの伝統芸能は、儀礼や日常のさまざまな場面で演じる、生活に欠かせないものです。その時々的心情をうたう叙情的な歌から動植物をモチーフにした踊り、魔祓いの踊りや杵つきなどの作業の様子を表した踊り、娯楽性のある舞踊劇など、その種類は多岐にわたります。歌や踊りはリムセ、ホリッパ、ウポポ、ヘチリなど地域によって呼び方が異なり、その土地ごとの特色を色濃く反映させながら各地で受け継がれてきました。今日では音楽や舞台劇など多様な活動も行われており、世界に向けてもアイヌの伝統芸能が発信されています。

ウエカリ チセ（体験交流ホール）では、日本全国から集まったアイヌとシサム*が共に力を合わせ、各地の伝承者に協力をいただきながら、さまざまな時代の伝統芸能を伝承・復興し、その魅力を伝えています。

ピリカノ ヌカラヤン（楽しんでご覧ください）

*シサム・・・「隣人」の意味で、和人を指す



sinre

シンレ
地名

yaunmosir

ヤウンモシリ
北海道

このパンフレットで取り上げた演目の伝承地をご紹介します。
公演で紹介したほかにも各地に特色ある豊かなアイヌ文化があります。
※このパンフレットでは、伝承が記録された当時の地域名で表記しています。

パセノポ イヤイライケレ ～ 演目指導伝承者 ～

各地の伝承者にご指導いただいています。

秋辺デボ氏（阿寒） 平良智子氏（阿寒）	渡辺かよ氏（阿寒・本別） 山本栄子氏（阿寒・本別）	押野千恵子氏（鶴川）
新井田幹夫氏（白老） 高橋志保子氏（白老） 山丸和幸氏（白老）	及川直美氏（平取） 木村弘美氏（平取） 長野環氏（平取） 原田梨乃氏（平取）	酒井学氏（帯広） 酒井奈々子氏（帯広） 酒井真理氏（帯広） 吉根加奈氏（帯広）

アイヌ古式舞踊は国が指定する重要無形民俗文化財であり、
ユネスコ無形文化遺産代表一覧にも記載されています。

～重要無形民俗文化財指定「アイヌ古式舞踊」保護団体～

阿寒アイヌ民族文化保存会
旭川チカプニアイヌ民族文化保存会
浦河アイヌ文化保存会
帯広カムイトウウポポ保存会
札幌ウポポ保存会
様似民族文化保存会
静内民族文化保存会
白老民族芸能保存会
白糠アイヌ文化保存会

千歳アイヌ文化伝承保存会
弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会
新冠民族文化保存会
鶴川アイヌ文化伝承保存会
春採アイヌ古式舞踊釧路リムセ保存会
平取アイヌ文化保存会
三石民族文化保存会
門別ウタリ文化保存会



UPOPOY
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

upopo newa rimse

伝統芸能上演
ウポポネワリムセ

sinot シノッ 伝承のかたち	inomi イノミ 創造のかたち	imeru イメル 再生のかたち	sukus スクシ 交流のかたち
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------



前歌

舞台の始まりを表現した歌でお迎えします。

イヨマンテ リムセ iyomante rimse

熊の霊送りの踊り（白老）

祝いの席など人々が楽しむ場や、動物の魂をカムイの世界へ送り帰す儀礼「イヨマンテ」のときに踊ります。カムイとアイヌの交流に彩りを添えるものとして、ここ白老で大切に受け継がれています。

トンコリ tonkori

弦楽器（樺太）

弦楽器「トンコリ」には、独奏や伴奏などさまざまな曲があります。儀礼や祝いの席では、ヘチリ（輪踊り）とともに奏でます。また、その時々のお気持ちなどを即興的にうたうヤイカテカラ（叙情歌）の伴奏として奏でることもあります。

ムックリ mukuri

口琴（各地域）

小さな弁の音を口の中で響かせて鳴らす「口琴」と呼ばれる楽器は、ユーラシア各地に見られます。ムックリはそのひとつで、竹や鉄などで作られてきました。雨や風、動物の鳴き声、時には自分の感情を音色に乗せて表現します。

ウサ オカイ リムセ

いろいろな踊り（各地域）

ここでは、各地域の伝承者から受け継いだ踊りを通して、それぞれの伝承地に思いを寄せていただけることを願い、いろいろな踊りをご紹介します。平取のアンナ ホーレ(鳥の踊り)、帯広のエリ リムセ(粟まきの踊り)など、どの踊りをご紹介しますかは当日のお楽しみです。

<踊りの一例>

アンナ ホーレ anna hore 鳥の踊り（平取）

鳥たちが向かい合い、羽ばたきの様子を競い合う姿を表現した踊りです。

エリ リムセ eri rimse 粟まきの踊り（帯広）

農作業の一連の流れを踊りにしたもので、豊作を願い、収穫の喜びを表現する踊りです。

踊り体験

子どもから大人まで楽しめる踊りをお届けします。一緒にリズムに乗ったり、掛け声を入れたりしながら交流しましょう。盛り上がってきたら、自由に踊ってみてください。



sukus

スクシ

～交流のかたち～

スクシ（日差し）が舞台を照らし、光に満たされた空間の中で、歌や踊り、楽器の演奏を紹介します。そのひとつひとつが人々を結びつけ、アイヌの伝統芸能の豊かさを伝えます。最後の踊り体験では、私たちと共に舞踊の楽しさを表現し、交流の輪を広げましょう。

